

# THAILAND ECONOMIC UPDATE

## October 2021

ศูนย์วิจัยกสิกรไทย  
KASIKORN RESEARCH CENTER



### 8月のタイ経済は国内外の新型コロナの流行が下押し

#### ▶ 要点

- ▶ 2021年8月のタイ経済は、国内外の新型コロナの流行により、下押し圧力がかかっています。民間消費・投資は前月に比べ鈍化傾向にあります。今年のタイ経済をけん引してきた輸出も、コロナ禍の状況悪化により仕向け先で需要が減退しました。また、外国人旅行者も低調が続いています。
- ▶ 2021年9月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比1.68%上昇しました。その主な理由は、政府が新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けている国民の生活支援として実施していた電気・水道料金の引き下げが8月末で終了したことと、燃料価格の上昇によります。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.19%の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。
- ▶ カシコン・リサーチセンターは、2021年の食事宅配サービスの市場規模について、前年比18.4~24.4%増の531億~558億バーツに拡大するとの予測を示しました。新型コロナウイルス感染症の流行による「巣ごもり需要」と飲食店での店内飲食の禁止を背景に、注文件数が飛躍的に伸びています。

#### ▶ タイ経済の動向

#### 2021年8月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2021年8月の重要な経済指標によると、国内外の新型コロナウイルス感染症の流行は引き続きタイ景気回復に下押し圧力がかかっています。都市封鎖の影響で民間消費が鈍化傾向にあり、今年のタイ経済をけん引してきた輸出も、コロナ禍の状況悪化により仕向け先で需要が減退しました。また、外国人旅行者も低調が続いているが、引き続き公共投資が国内経済の下支えする上で重要な役割を果たしています。

8月の民間消費は前年同月比9.2%縮小しました。非耐久消費財が11.1%減、サービスが7.7%減、耐久消費財が22.3%減となりました。しかしながら、半耐久消費財が1.9%増となりました。

#### 2021年8月のタイ経済指標成長率 (Y-O-Y: 前年比)



一方で、民間投資は、前年同月比9.6%上昇しました。国内の機械販売が19.5%増、機械・設備を中心とした資本財の輸入が23.1%増となりました。しかしながら、商用車の購入は16.0%減、建材の販売は10.4%減となりました。建設認可を受けた土地の面積は4.4%減でした。

8月の輸出は、前年同月比8.2%増の218億米ドルとなりました。貿易相手国の需要拡大がやや減速し、改善ペースは鈍化しました。金を除いた輸出額は23.3%増の214億米ドルでした。

工業生産に関しては、前年同月比4.1%減少しました。工場での感染者集団の発生による一部操業停止により鈍化しました。また、観光業では、外国人旅行者が低調が続いています。

### 2021年9月のタイのインフレ率

商務省が発表した2021年9月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比1.68%上昇し、前月のマイナス成長からプラス成長に転じました。その主な理由は、政府が新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けている国民の生活支援として実施していた電気・水道料金の引き下げが8月末で終了したことと、燃料価格の上昇によります。

品目別にみると、食品・飲料部門は前年同月比1.16%減でした。米・粉製品が7.92%、果物・野菜が4.85%それぞれ下落したことで、全体を押し下げました。しかし、調味料は4.81%、卵・乳製品は3.76%上昇しました。一方で、非食品部門は前年同月比3.60%上昇しました。運輸・通信の上昇が、全体を押し上げました。

一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.19%の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。

図1: 民間消費及び民間投資(成長率:前年比)

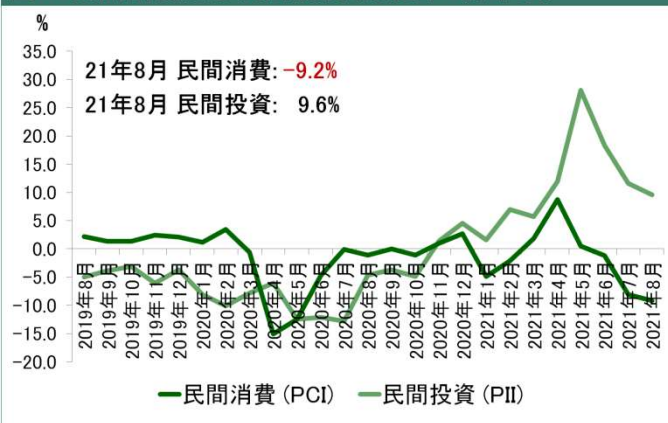


図2: 輸出、工業生産、外国人観光客数(成長率:前年比)

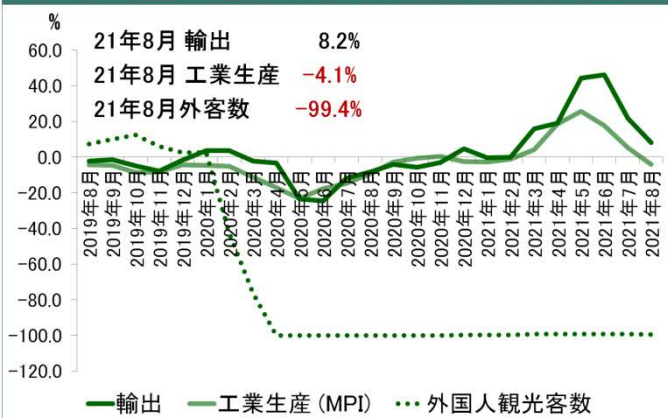


図3: ヘッドラインインフレ率及びコアインフレ率

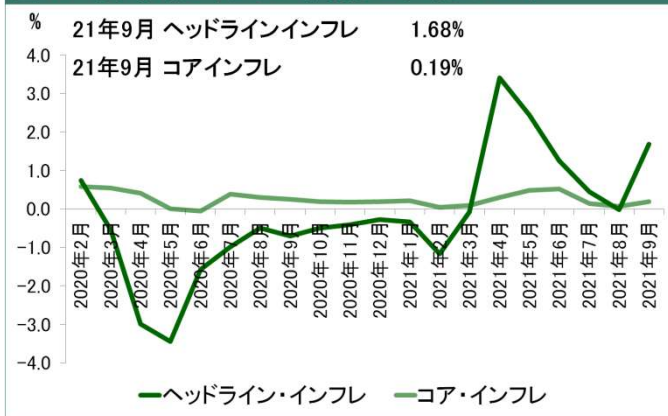
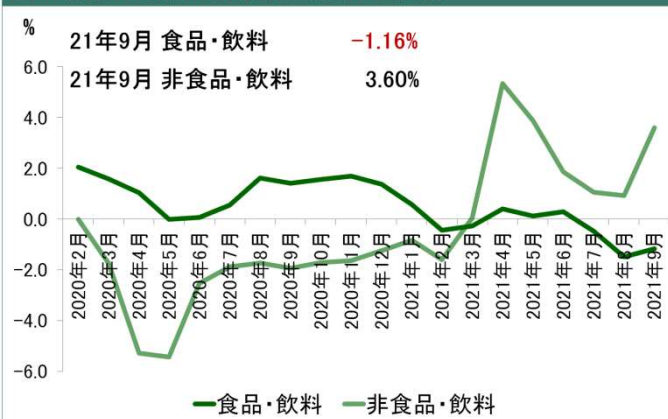


図4: 食品・飲料と非食品・飲料の価格



出所: タイ国中央銀行、タイ国工業省、タイ国観光・スポーツ省、タイ国商務省

## 食事宅配、今年は最大 24%成長

カシコン・リサーチセンターは、2021 年の食事宅配サービスの市場規模について、前年比 18.4~24.4%増の 531 億~558 億バーツに拡大するとの予測を示しました。新型コロナウイルス感染症の流行による「巣ごもり需要」と飲食店での店内飲食の禁止を背景に、注文件数が飛躍的に伸びています。

2021 年の食事宅配の注文件数は、新型コロナウイルス流行の 2019 年の 3,500 万~4,500 万件から、約 3 倍の 1 億 2,000 万件超に増加する見通しです。一方、消費者の購買力の低下や事業者の各種割引

割引により、注文 1 回当たりの平均支出額は前年から 20~25%減少しています。

また、屋台の宅配開始と利用者増により、食事宅配サービス全体に占める屋台の割合は 20 年の 29%から 40%超に拡大しました。在宅勤務の増加により、注文場所は首都バンコクからバンコク首都圏に広がっています。

新型コロナウイルスの先行き不透明感から食事宅配サービスの重要性は増すものの、今後は新規参入がさらに増えて競争が激化すると見込んでいます。

### Disclaimer

This research paper is arranged for public information, which has been obtained from sources believed to be reliable. KResearch does not warrant its completeness, reliability or accuracy for commerce or fitness for a particular purpose. The information contained herein may be subject to change at any time without notice. Reliance upon any information contained herein shall be undertaken at a user's own risk KResearch shall not be liable to any user, or anyone else for any damage occurring from the use of any content herein. Nothing in this research paper shall be counted as containing any advice, recommendation or opinion for decision making in business.

